

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
 - 1) 利用者満足の基本として、接遇（態度・服装・言葉使い等）を改善する
 - 2) 快食・快眠・快便について前年度の取り組みを踏まえ引き続き追及する
 - 3) リスクマネジメントの意識を向上させ、さらに一步踏み込んだ検証・再発防止を目指す
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
 - 1) 地域包括ケアの中心として、あんしんセンターの総合相談、認知症対応、ケアマネ支援、医療連携、介護予防をさらに充実させる
 - 2) 前年度を踏まえ、かがやきプラザ相談センターとあんしんセンター連携を推進する
 - 3) 施設機能を活用し、各事業の連携によりプラスアルファの機能を発揮する
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
職員体制の安定化に向けて
 - 1) 業務の見直し（効率化、重複を整理、超勤の減少）
 - 2) 人材確保の新たな仕組み作り
 - 3) 腰痛対策（労働安全衛生委員会の取り組み、福祉用具導入検討）
 - 4) 心のケア、ストレスチェック
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
 - 1) 予算根拠の稼働率・利用者数を達成する
 - 2) 決算で単年度黒字とする

施設の取組

1. 看護チームにリーダーを設置し、体制・業務を確立する
2. 特養、通所介護の職員体制の安定化
3. 建物の雨漏り緊急対応工事を実施
4. GHP 更新等の大規模改修に向けた検討